



ロンジン エレガンスアンバサダー サイモン・ベイカー

著名な俳優であるサイモン・ベイカーは、その魅力あふれるカリスマ的な演技によって、世界中の映画ファンに知られています。シーズン 7 まで続く大成功を収めたワーナー・ブラザーズ・テレビジョンのドラマシリーズ「メンタリスト」で主演を務めたベイカーは、主人公のパトリック・ジェーンを演じることによって世界的スターの座をゆるぎないものにしました。

ベイカーは多彩なキャリアを通して、ドラマのみならずコメディの役柄にも挑戦し続けてきました。エミー賞、ゴールデングローブ賞、全米映画俳優組合賞へのノミネートという形で、高い評価を受けています。オーストラリア生まれであるベイカーは、大絶賛を浴びたカーティス・ハンソン監督作品「L.A.コンフィデンシャル」で映画デビュー。ラッセル・クロウ、ガイ・ピアース、ケヴィン・スペイシーらとの共演を果たしました。

2007 年には「ブラダを着た悪魔」でメリル・ストリープ、アン・ハサウェイと共演。同作は、批評家からの称賛を得るとともに、興行的な成功も収めています。2010 年にはマイケル・ウインターボトム監督の「キラー・インサイド・ミー」（原作はジム・トンプソン作の著名な小説）で敏腕地方検事を演じ、ケイシー・アフレックと共演しました。

2012 年にはアカデミー賞ノミネート作品「マージン・コール」でケヴィン・スペイシー、ジェレミー・アイアンズ、ポール・ベタニー、ザカリー・ジョン・クイント、デミ・ムーアと共演。同作はインディペンデント・スピリット・アワードのロバート・アルトマン賞も受賞しました。ベイカーは立て続けに、ワーキング・タイトル・フィルムズの長編コメディ「アイ・ギブ・イット・ア・イヤー (I Give It A Year)」に出演し、ローズ・バーンやアンナ・ファリスと共演しています。

このような多彩な演技を見せてきたベイカーはさらに、「マリー・アントワネットの首飾り」でオスカー女優、ヒラリー・スワンクと共演し、王家の女性と恋仲になる若きジゴロを演じました。さらに、異人種間の恋愛を描く魅力的なラブストーリー、「サムシング・ニュー (Something New)」ではサナ・レイサンと共演しました。また、興行的成功を収めた「ザ・リング 2」ではナオミ・ワッツと、アン・リー監督の「楽園をください」ではトビー・マグワイアと共演しています。

ベイカーは、ユニバーサルスタジオ制作のアクションホラー映画「ランド・オブ・ザ・デッド」（カルト映画監督のジョージ・ロメロ自身による大人気ゾンビ・シリーズをベースにした作品）で予想外の転機を迎えます。このような大手スタジオの映画とは対照的に、ベイカーはインディペンデント系の映画にも出演。ダニエル・ウォーターズ監督の「セックス・カウントダウン」ではウィノナ・ライダーと、そしてアラン・ブラウン監督の「結婚の条件 Book of Love」ではフランシス・オコナーと共演しています。

ベイカーは、「メンタリスト」および「堕ちた弁護士 -ニック・フォーリン-」（2001～2004 年まで主演を務めた、かつての CBS ドラマシリーズ）の複数のエピソードで監督を務めました。俳優、監督としてのキャリアに加えて、スイスに本社を置く腕時計ブランド、ロンジンのブランドアンバサダーとして、2014 年にはロンジン エレガンスアンバサダーの一員となりました。

「堕ちた弁護士 -ニック・フォーリン-」終了後も長年の交友関係が続いているプロデューサーのマーク・ジョンソンが、今後の映画化の候補作として、ティム・ウィントンによる話題の小説「プレス：呼吸」をベイカーに薦めました。その後ベイカーは、脚本家のジェラード・リー（ジェーン・カンピオン監督「トップ・オブ・ザ・レイク (Top of the Lake)」の脚本を担当）との共同作業により脚本を翻案し、先ごろ、この長編映画の撮影を終えました。「プレス：呼吸」でベイカーは、脚本、監督を務めるのみならず俳優として出演し、エリザベス・デビッキと共演しています。現在のところ、「プレス：呼吸」は 2017 年公開予定です。



LONGINES

